

大船渡湾内観測結果(No.8)

“今月の話題”

湾内の水温は13～18℃台であり、例年よりも2～3℃高くなっています。二枚貝等の餌の量を示すクロロフィルは、先月よりも低くなりました。

11月15日に行った大船渡湾内観測結果をお知らせします。

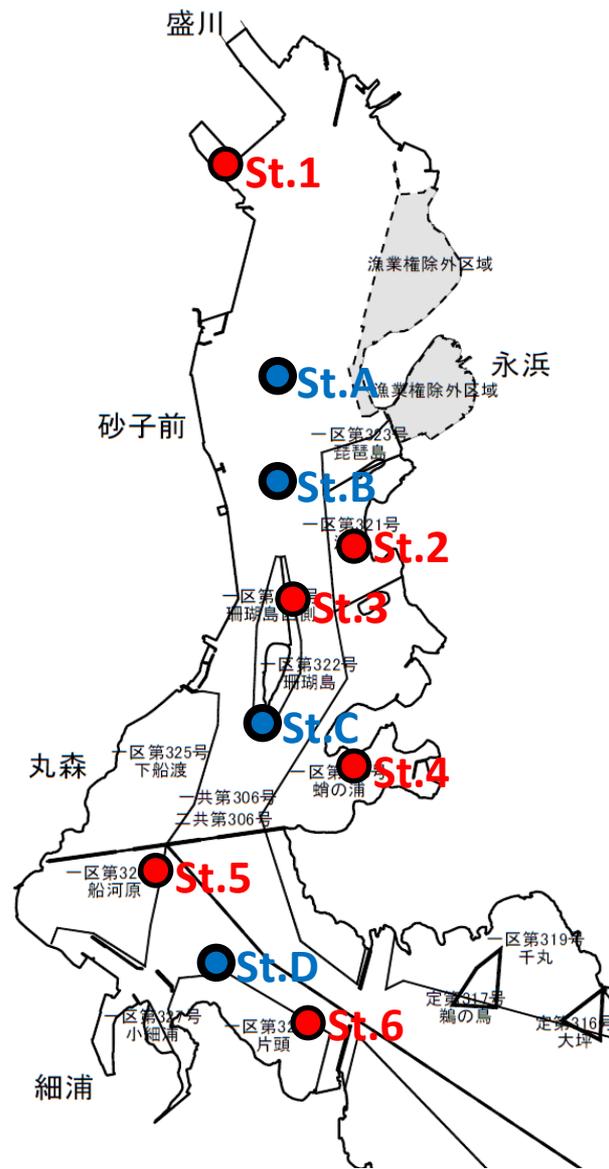
透明度は7.0～14.5mであり、平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、-0.6～+2.5mの範囲内でした。

水温は水深2.5mが17.2～18.4℃、水深10mが17.3～17.6℃でした。平成18年度から平成29年度の平均値と比べて、水深2.5mが+2.4～+3.5℃、水深10mが+1.8～+2.3℃の範囲内でした。

海域名:大船渡湾

調査担当:水産技術センター、大船渡水産振興センター、大船渡市

観測点(St.)		1	2	3	4	5	6
観測年月日		平成30年11月15日					
観測時刻		11:20	11:35	10:53	10:32	10:19	10:01
天候		晴					
気温(°C)		11.6					
風向		NNE					
風力		2					
水深(m)		8.8	24.2	27.1	18.9	25.1	36.7
透明度(m)		7.0	11.5	10.5	12.0	14.5	11.0
水色		10	9	8	8	7	7
水温(°C)	表層0m	18.0	16.4	16.1	14.5	13.5	14.5
	水深2.5m	18.2	18.4	18.2	18.4	17.9	17.2
	水深10m	-	17.5	17.6	17.3	17.5	17.6
	海底上1m	17.7	16.8	16.8	16.8	16.8	16.7
塩分	表層0m	31.7	29.7	29.7	28.2	27.7	28.4
	水深2.5m	33.7	33.2	33.1	33.3	32.9	32.6
	水深10m	-	33.8	33.8	33.7	33.7	33.7
	海底上1m	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8	33.8
溶存酸素飽和度(%)	表層0m	43.3	84.1	84.7	77.4	89.3	87.8
	水深2.5m	40.8	72.5	73.4	75.1	83.4	87.7
	水深10m	-	81.7	79.9	89.2	88.1	88.1
	海底上1m	69.2	88.3	87.2	90.0	95.6	93.1
クロロフィル(Chl-Flu.(ppb)) ※観測機器の測定値	表層0m	0.9	0.6	0.8	0.5	0.4	0.5
	水深2.5m	1.2	0.8	0.5	0.6	0.9	0.9
	水深10m	-	1.0	1.0	1.1	1.0	1.3
	海底上1m	0.8	0.5	0.5	0.7	0.8	0.5



©岩手県（漁業権連絡図）

図1 大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
 St.AからSt.Dにおいて表層0mから水深10mの水質を観測した。

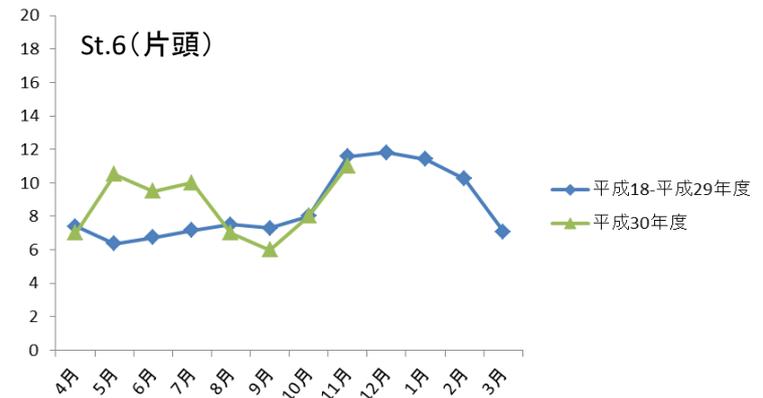
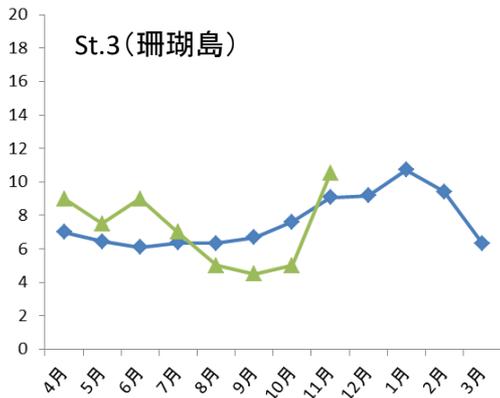
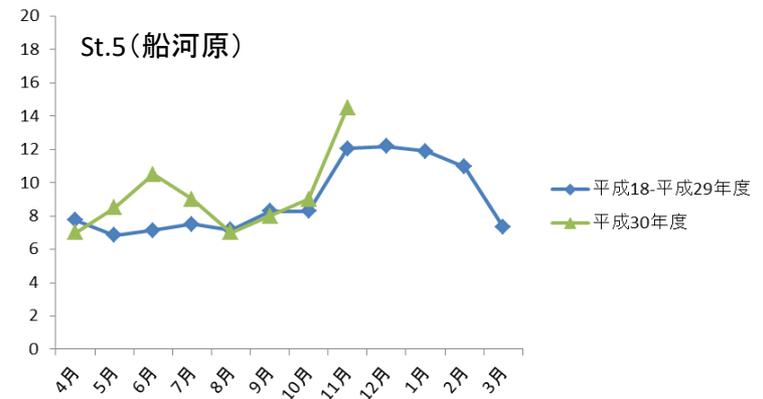
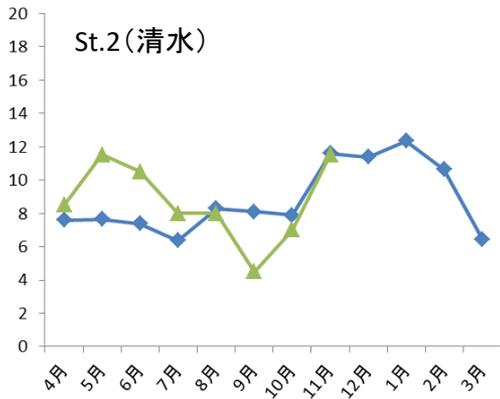
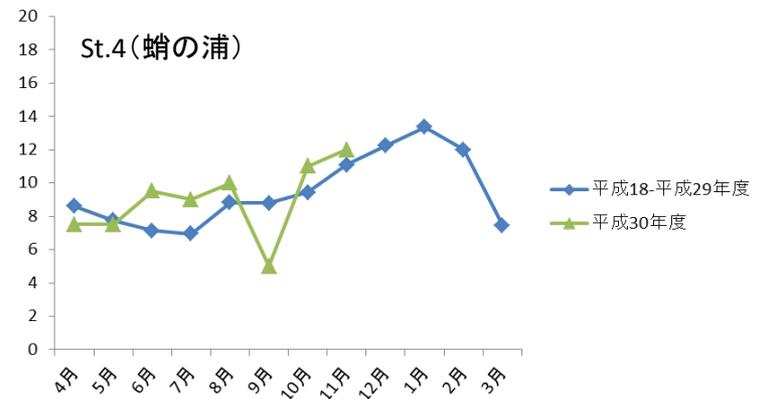
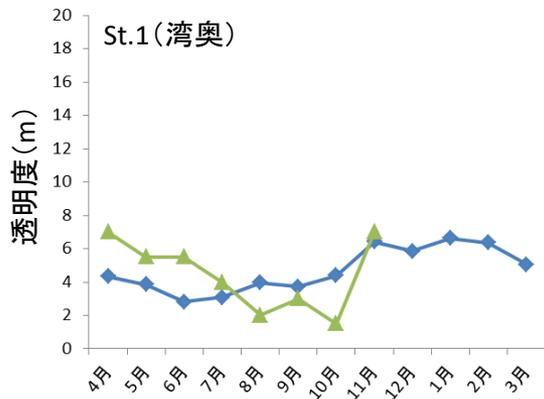


図2 透明度の推移

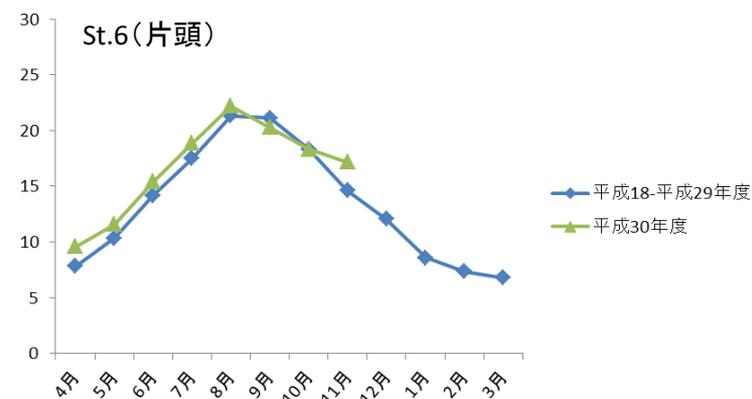
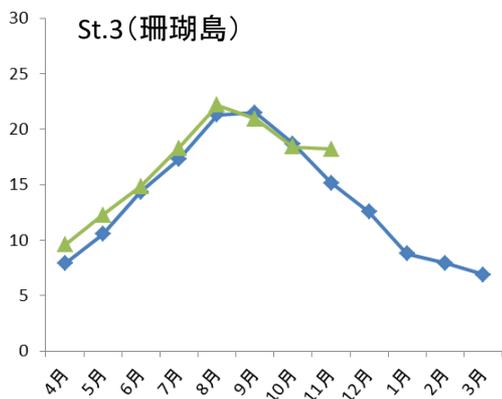
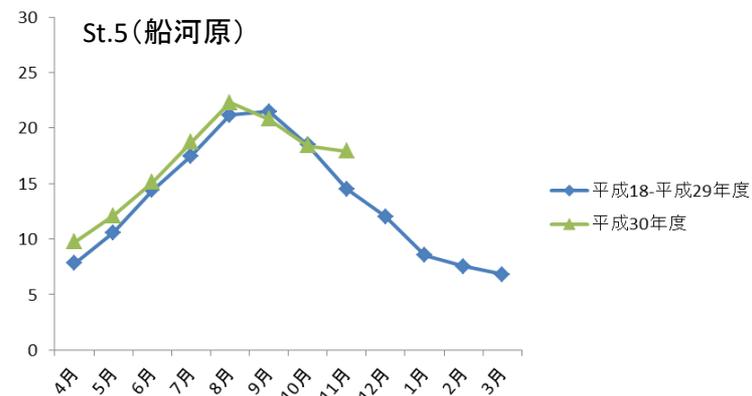
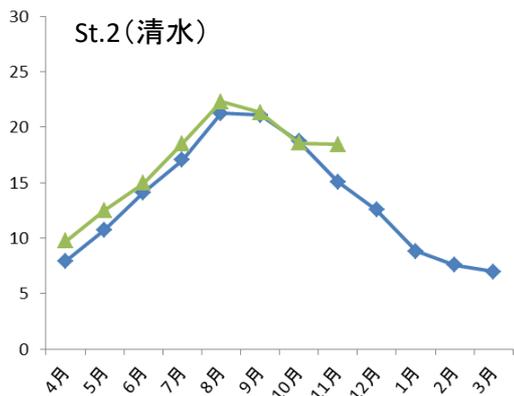
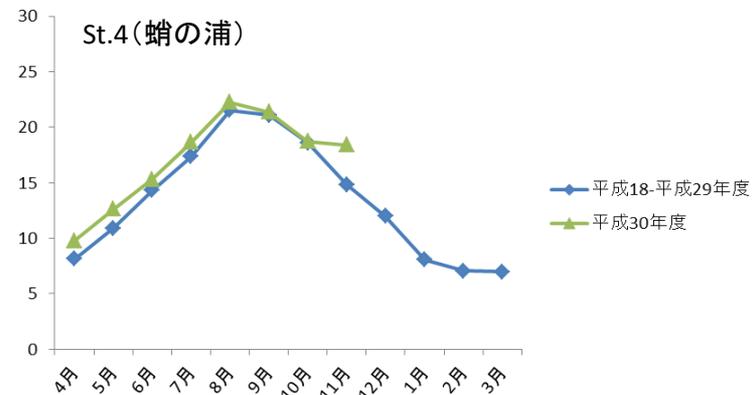
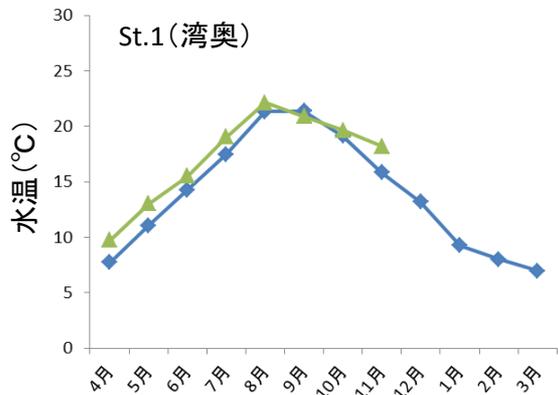


図3 水深2.5mの水温の推移

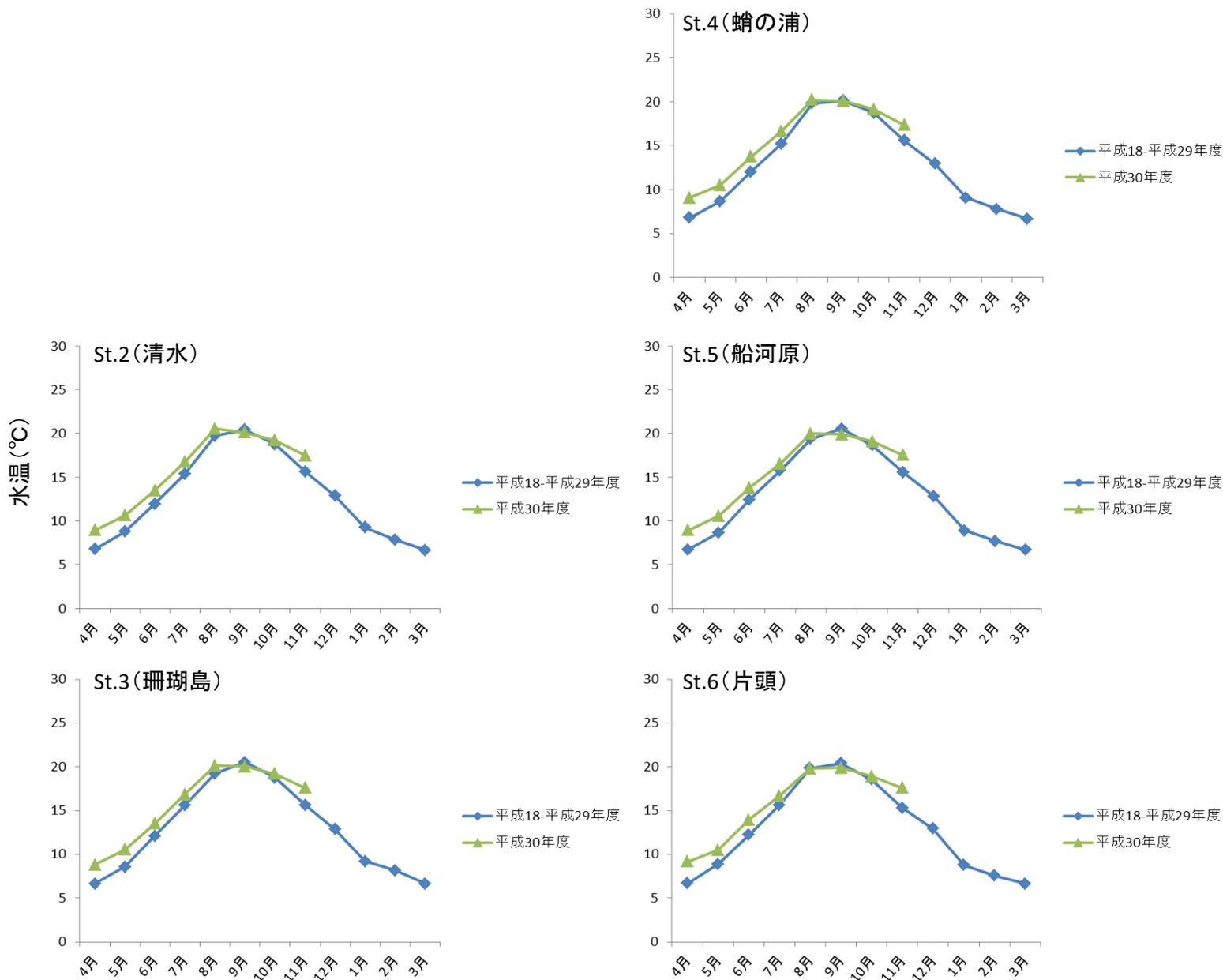
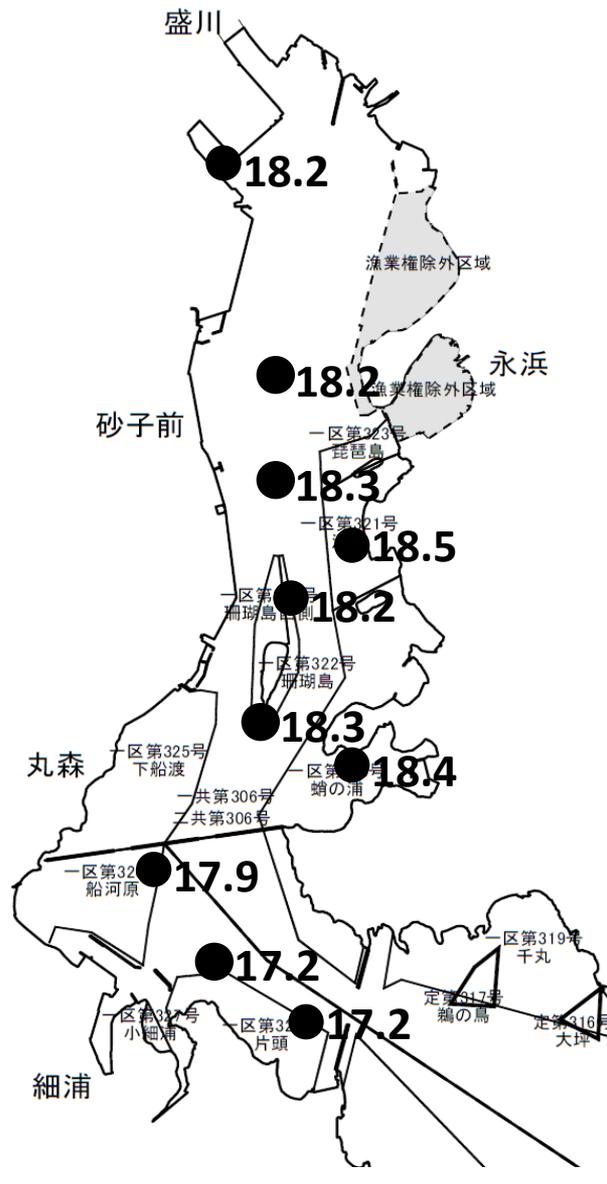


図4 水深10mの水温の推移



©岩手県（漁業権連絡図）

図5 水深2.5mの水温の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨や気温の影響を受けて湾内の水温は変化する。

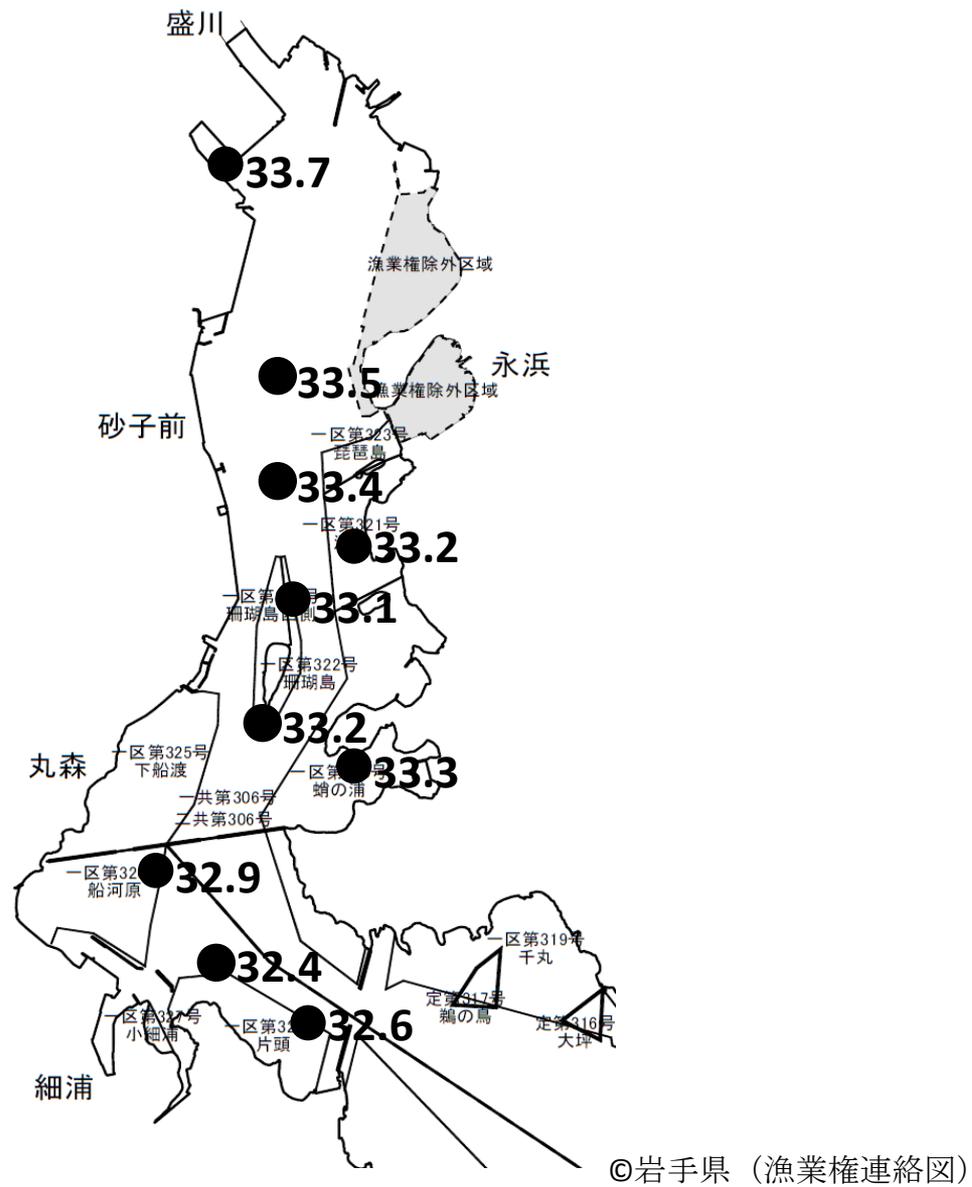


図6 水深2.5mの塩分の分布

※湾外から湾内に流入する海水、陸から湾内に流入する河川水、降雨の影響を受けて湾内の塩分は変化する。

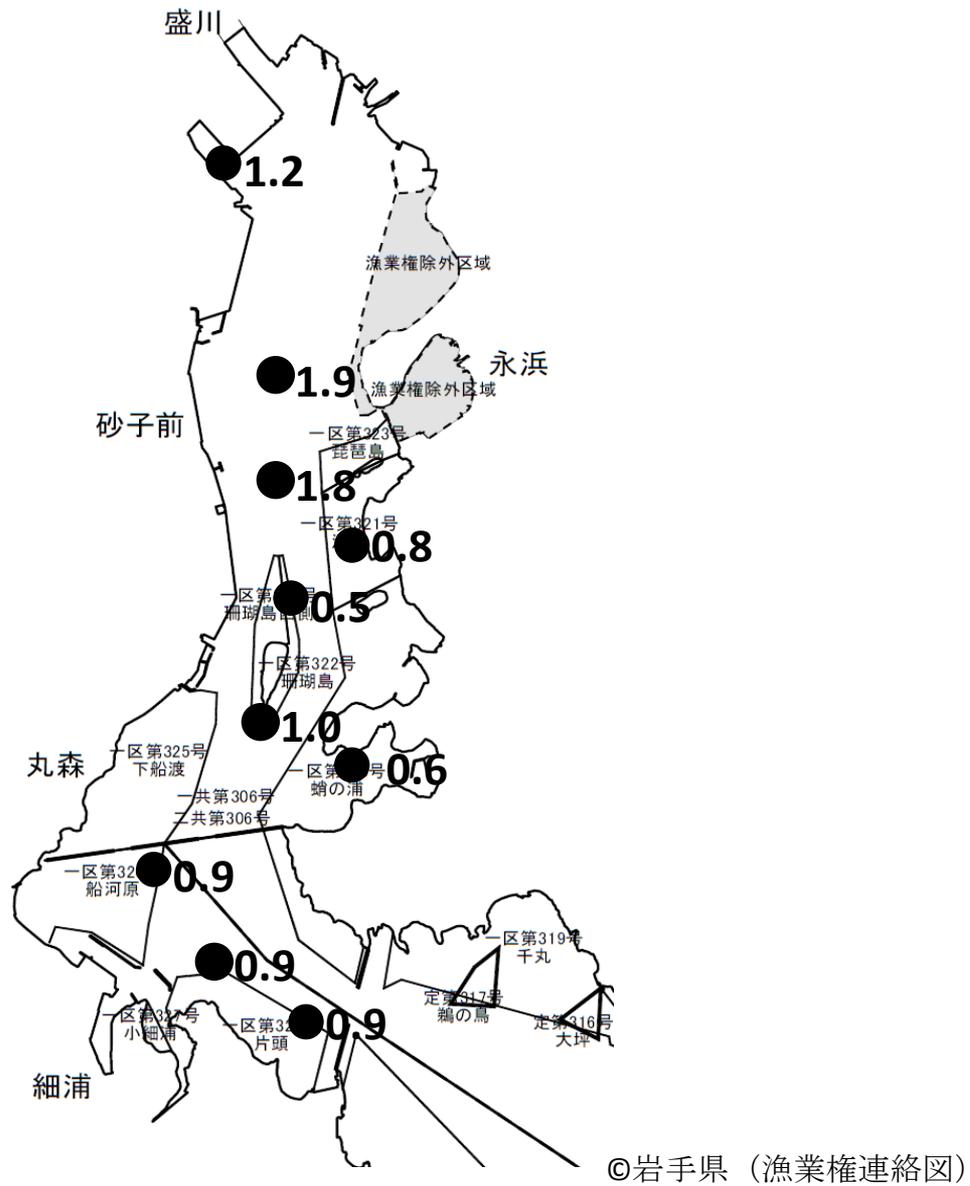


図7 水深2.5mのクロロフィルの分布

※クロロフィルは植物プランクトン量の指標であり、植物プランクトンは二枚貝やホヤ等の餌となる。